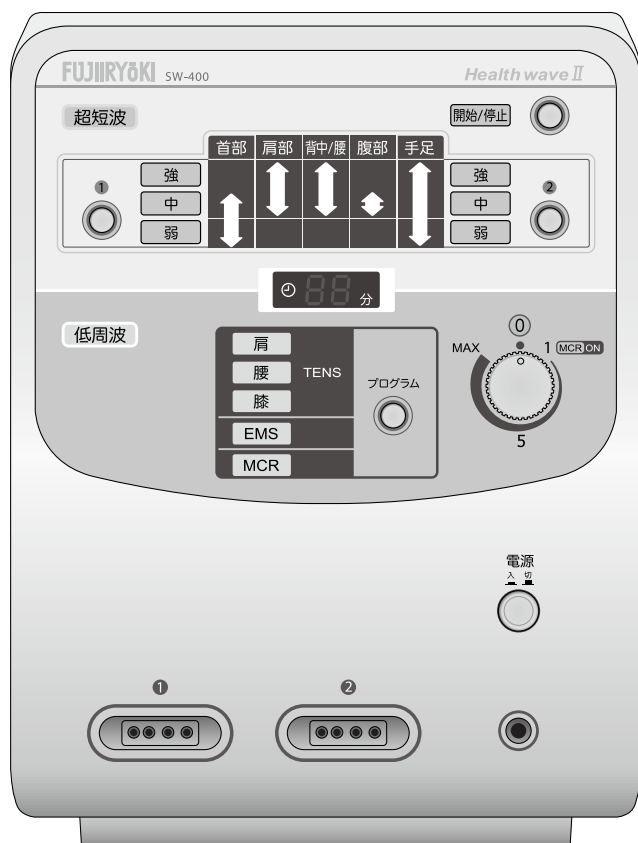
FUJIIRYŌKI

低周波・超短波組合せ家庭用医療機器

Health wave Ⅱ

SW-400

ヘルスウェーブⅡ

管理医療機器　低周波・超短波組合せ家庭用医療機器
医療機器認証番号：223ACBZX00051000

添付文書

取扱説明書

目次

この度は、「ヘルスウェーブⅡ」をご購入いただきありがとうございました。
●ご使用前に、本取扱説明書を良くお読みいただき、正しくご使用ください。
●また、いつでもお読みいただけるよう、本体と取扱説明書、保証書を一緒に大切に保管してください。

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくために

はじめに

●取扱説明書は治療器を安全にお使いいただくために必要です。
本治療器を人に貸したり、差し上げる時には必ずこの取扱説明書を一緒にお渡しください。

●ご使用前にこの「安全上のご注意」をよく読み、正しくお使いください。

●あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために,下記のような絵表示をしています。
危害や損害の程度を表わしていますので、内容を理解してから本文をお読みください。

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫っていることが想定される内容を示します。

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

取扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性または物的損害が想定される内容を示します。

表示例

は、**「危険・警告・注意」**を促す内容です。
※表示例は「感電注意」です。

は、してはいけない**「禁止」**の内容です。
※表示例は「分解禁止」です。

は、行為を指示する**「強制」**の内容です。
※表示例は「プラグをコンセントから抜く」です。

次のような場合は使用しないでください

危険

下記のような医用電気機器との併用は、機器に誤作動をまねく恐れがあります。
使用しないでください。

●ペースメーカー等の体内植込型医用電気機器
●人工心肺等の生命維持用医用電気機器
●心電計等の装着形医用電気機器

警告

次のような人及び部位には使用しないでください。

●知覚障害のある人（糖尿病などによる温熱に対して感覚の鈍い人）
●血友病などの出血性素因の高い人
●温熱に対して感覚の鈍い人や温度感覚喪失が認められる人
●金属製物質（人工骨頭、埋没くぎ、金属製クリップなど）やプラスチックなどを体内に植え込んだ部位※1
●乳幼児（６才以下、異常に対して意思表示ができない危険があります）※1
●適用部位の皮膚に異常（感染症、創傷など）のある人
●重度な血行障害のある部位
●中程度以上の重い浮腫のある部位
●出血部位または月経時の腹部※1
●男性生殖器※1
●頭部（脳、目、耳等）
●萎縮性拘縮を起こしている皮膚表面※2
●頚動脈洞※2
●静脈怒張の皮膚表面（静脈が浮き出る状態）※2
●その他、医師が不適当と認めた人

下記のような機器との併用はしないでください。

●他の機器とは同時に使用しない…過度な刺激を受けたり、体調を損なったり、器械の故障の原因となることがあります。使用する場合は時間をずらして使用してください。
●補聴器は外すこと…誤作動をまねく恐れがあります※1

警告

次の人は必ず医師とご相談の上、使用してください。

●病名などがはっきりしない人
●悪性腫瘍のある人
●心臓に障害のある人
●妊産婦
●熱の高い人（38℃以上）
●安静を必要とする人
●血栓症の人※1
●血圧に異常のある人※1
●急性（疼痛性）疾患の人
●低温やけどをしたことのある人※1
●寝たきりの人※1
●血管障害の恐れのある血圧異常の人※2
●その他、医師の治療を受けている人や身体に異常を感じている人

次の人は、介護者のもとで使用してください。

●マヒのある人
●7～12歳の子供

次のような人や部位への使用は、慎重に判断してください。

●皮膚知覚が低下している人や部位
●成長期の骨端や骨が非常に突起した部位※1
●認知症の人や、意思表示ができない人
●判断能力を欠くほどお酒を飲んだ人
●睡眠薬を飲んだ人
●胸部近辺※2

※1…超短波に関する注意事項　※2…低周波に関する注意事項

使用上のご注意

身体に合った治療をしてください

⚠警告

身体に異常を感じたり、発赤などが現れた時は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。
症状が悪くなることがあります。

治療目的にあった治療時間・出力を超えないように注意してください。

⚠注意

しばらく使用しても効果が現れない場合は、医師または専門家に相談してください。

治療部位や症状、回数などは年齢や体調などにより個人差があります。不明な点はフジ医療器お客様相談窓口にご相談ください。

使用場所や状況について

⚠危険

浴室などの湿度の高い所では使用しないでください。

〈超短波治療について〉

電位治療器などで使用する電床マットの上では、超短波を使用しないでください。
電床マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。（電床マットが本体に接続されていない場合も同様です。）

電源が入っていない状態、あるいは電源コードを接続していなくても、導電性のあるものの上では使用しないでください。
電気毛布や敷布、電気カーペットが焦げて火傷または熱傷、火災等の恐れがあります。

⚠警告

水のかからない場所に設置してください。

本体を寒い場所から温かい場所に移動した直後に使用しないでください。
本体内部で「結露現象」が生じる恐れがあります。この状態で使用すると表示部の誤作動や故障の原因となります。使用する時は移動後 2 時間以上経過してから電源を入れてください。

本体背面の通気孔を塞ぐような使い方（布団をかぶせたり、壁に寄せるなど）はしないでください。
本体内部が熱をもち、故障の原因となります。

〈超短波治療について〉

他の治療器や電気製品（電気毛布や電気カーペット、敷布、こたつ、あんかなど）との同時使用はしないでください。
過度な刺激で体調を損なったり、電気製品が誤作動したり、電気カーペットが焦げるなど事故の原因となります。

電動ベッドの上で治療器を使用する場合は、必ず電動ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。
誤作動や故障の原因となります。

Health wave II

⚠注意

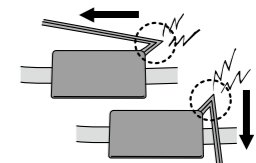
温度、湿度、日光、ほこり、および塩分・イオウ分を含んだ空気等により悪影響の生ずるおそれのない場所に設置してください。
劣化を早め、事故や故障の原因となります。

本体は安定状態を保つように心がけ、傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などが発生しないように注意してください。

〈超短波治療について〉

電話（携帯電話を含む）やインターホン、テレビのリモコンやパソコン、精密機器などを使用しながら治療しないでください。また使用中の電話機やインターフォン、自動ドアや火災報知器のセンサーの近くで治療しないでください。
電話機にノイズが入ったり、故障の原因となります。他の電気製品とはできるだけ（2m 以上）距離をあけて使用してください。他の電気製品に異常を起こしたり、逆に電気製品の影響で異常が発生したりする恐れがあります。

金属枠を使用したイスやベッドなどの上で使用しないでください。
ピリッとしたり、火傷または熱傷の原因となります。また、治療中に周囲のイスやベッドなどの金属部や、他の人に触らないよう注意してください。

右図のような方向に超短波導子のコードが引っぱられないように、本体を置いてご使用ください。
コード付け根部分の芯線が断線しやすくなります。

電源・配線は正しく

⚠警告

交流 100V、50/60Hz 以外では使用しないでください。
規格の異なる海外での使用は発火、ショート、感電などの原因となります。

コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方はしないでください。
タコ足配線などで定格容量を超えると発熱による火災の原因となります。また、タコ足配線をすると本器や他の電気製品がお互いに誤作動する可能性があります。

本体の取扱いについて

⚠警告

本体や付属品を勝手に修理したり、改造したりしないでください。
故障かなと思ったら使用を中止し、ご購入先またはお客様相談窓口へお問い合わせください。

本体ケースは絶対に開けないでください。
内部は高電圧が発生しており、感電する恐れがあります。

機器を他にぶつけたり、倒したり、落下等強い振動や衝撃を与えないでください。
誤って落とした場合は、必ず点検を受けてください。その時に異常がなくても内部の損傷が進み、故障、事故の原因になることがあります。

本体の上に重いものや飲み物などを置かないでください。
内部に水が入ると発火・ショートなどの事故や故障の原因となります。

定められた手順で操作してください。また、子供には操作させないでください。
操作を誤ると事故や故障の原因となります。

濡れた手で本体の操作は、絶対におやめください。
感電の原因となります。

使用上のご注意（つづき）

- 本体や付属品が傷ついていたり破損している場合は、使用しないでご購入先またはお客様相談窓口へご連絡ください。
- 間違った使用や乱暴な取り扱い、あるいは長年の使用は、コードの断線などにより、火傷または熱傷・火災など思わぬ事故の原因となることがあります。

コード類（付属品・電源コード）の取扱いについて

⚠警告

- 導子に金属を接触させたり、出力口に金属製の棒やハサミ、ピンなどを差込まないでください。また、導子のコードには金属類を近づけたり、他の電気のコードと交わらないようにしてください。
  感電、発火の原因となったり、他の電気製品に異常を起こすなどの恐れがあります。
- 本体の出力口に差し込んだプラグを踏みつけたり、大きな力を加えたりしないでください。
  プラグや出力口が破損し、事故や故障の原因となります。
- 電源コードなどすべてのコード類を傷つけたり、破損したり、無理に引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだりしないでください。
- コード類のプラグにゴミ、ほこりなどを付着させたまま使用しないでください。
  発火、ショートなどの原因となります。
- 導子を強く折りたたんだり、きつく丸めたり、重い物を乗せたりしないでください。
- すべてのコードは容易に離脱しないように正しく、確実に差し込んでください。
  発火やショートなどの原因となります。

〈超短波導子について〉

- 超短波導子は水にぬらさないでください。万一濡らしてしまった場合は、使用せず、新しい導子と交換してください。
- 超短波導子とイス・ベッド・床などの間にコードが挟まった状態で使用しないでください。
  導子がコードに作用して、異常発熱する恐れがあります。
- 超短波導子がイス・ベッド・床などの間で長時間・強く圧迫された状態でのご使用はお避けください。
  導子が発熱したり、火傷または熱傷をする恐れがあります。またイス・ベッド・床・ふとんなどが焦げる恐れもあります。
- ２つの導子が重なる状態で放置したり、重ね合わせて使用しないでください。導子コードを束ねたり、巻きつけて使用しないでください。
  熱をもち事故や故障の原因となります。
- 超短波導子にソースや醤油などをこぼした場合は、火傷または熱傷、ならびに焼け焦げの原因となりますので、新しい導子と交換してください。
- 導子コードは特性上、使用中に一定の熱を持ちます。また、長時間の使用や使用方法、出力設定等によっては、温度が上昇することがあります。
- 使用中の導子を本体や金属類（電気製品、ワゴン、ラメ入り畳や座布団など）、付属品類（粘着パッド、低周波接続コードなど）の上に絶対に置かないでください。
  熱をもち事故や故障の原因となります。

⚠注意

- 指定以外の付属品は使用しないでください。
- コード類の抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。
  コードを持って行うと断線やショートなどの原因となります。

〈超短波導子について〉

- 導子コードは、超短波の影響を受けやすいもの（金属や炭素繊維など）や、他の電気製品のコードと接触しないように配置してください。
- お手入れは水またはぬるま湯を含ませた布を固く絞り、拭いてください。汚れがひどい場合には軽く手もみ洗いをしてください。
  洗濯機での洗濯や手もみ洗いで強く洗ったり、何度も洗ったりすると縮んだり、変型したりするおそれがあります。

使用前の注意事項

⚠危険

〈超短波治療について〉

- 超短波治療する場合、低周波接続コードは、必ず本体から抜いてください。また、粘着パッドは身体から外してください。
  火傷や、焼け焦げの原因となります。

⚠警告

- 導子（コード、プラグを含む）の損傷やコネクタの接続不良等が無いか、使用前に確認してください。万が一、不具合が確認された場合は、使用しないでください。
  ご購入先またはお客様相談窓口へお問い合わせください。
- 導子を使用する際は、正しく装着してください。また、同じ部位で２つの導子を重ねて治療しないでください。
- しばらく使用しなかった治療器を再使用するときは、使用前に必ず治療器が正常かつ安全に作動することを確認してください。また、６ケ月以上使用しなかった場合は、使用前にご購入先で点検を受けてください。
  スイッチ等を入れ、本体と付属品が正常かつ安全に作動するか確認してください。

〈超短波治療について〉

- 気分が悪くなることがありますので、空腹時、腹部に超短波を透射することは避けてください。
- 治療や日頃の健康管理以外の目的で使用しないでください。
  特にペットへの使用は避けてください。
- 絆創膏または湿布などの湿った包交物、ゲルマや磁気治療器などの金属物を含む絆創膏の上への照射は避けてください。
- 使い捨てカイロ、金属類（ネックレス、ベルト、時計、メガネ、イヤリングなど）、導電性衣料（サンダーロン® 繊維使用、もしくはジャンヌ・ダルクなどのサンダーロン® 繊維を含む肌着などの衣料、ラメ入り、金糸・銀糸入りや炭素繊維・静電気防止用繊維など）は、身体から外してください。また、特殊綿（プラチナ繊維、トルマリンなど）や炭素材入り布団、まくら、磁気入り布団や墨入り（炭素材等）の畳などの上や周囲で使用しないでください。
  火傷または熱傷などの事故の原因となります。
- 治療部位の皮膚が乾燥していることを確認してください。湿布剤、塗膏剤等が塗られていたり、汗などで濡れている場合は、必ず拭き乾燥させてください。また、治療中に汗をかいた場合は、すぐに拭いてください。
  皮膚が濡れたままで治療すると火傷または熱傷の原因となります。

使用上のご注意（つづき）

操作ツマミ、スイッチなどが正常に作動するか確認してください。

使用中の注意事項

⚠警告

他の治療器の部品や付属品などを流用しないでください。
規格や仕様が異なるため、事故や故障の原因となります。

本器に異常を感じた時（異常音がする・本体が熱いなど）は、直ちに使用を中止してください。
電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

雷や地震、停電時は使用を中止し、操作ツマミ、スイッチなどを元の位置に戻し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
復帰時に事故や故障の恐れがあります。

〈超短波治療について〉

治療中、温感が高すぎると感じた時は、我慢せずに治療を中止してください。または、タオル等をあてて、熱さを弱めて治療してください。
無理して治療を続けると火傷の原因となります。

使用当初、低血圧や貧血、または虚弱体質の人は、疲労感を覚えることがあります。また、身体異常（発赤、腫脹、頭痛、ふしぶしの痛み等）があらわれたり、感じた時は、直ちに使用を中止してください。
中止しても症状が軽減しない場合は、医師に相談してください。

超短波導子は素肌の上から直接あてず、またコードも直接素肌に触れないようにして、必ず乾いたタオルや服の上からあててください。
直接あてると、火傷または熱傷などの原因となります。

ヒジ・ヒザなど骨のとび出た部位へ導子をあてる時は、衣服の上から使用する場合でも、乾いたタオルをあてがってください。
火傷の原因となります。

ベルト付導子カバーとマジックベルトは、天然ゴムを使用しています。天然ゴムは、かゆみ、発赤、じん麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧降下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。
このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。また、腕に巻く時は、かぶれや炎症などのある部位は避けてください。

使用中、右図のような方向にコードを引っぱらないでください。また、超短波導子を抜く際は、プラグを持って抜いてください。
プラグの根元や内部で断線しやすくなります。

足首や膝を合わせた状態で左右両側から導子をあてる治療は絶対にしないでください。タオルなどをあてがっても、左右の足が触れることがあり、接触部に火傷を起こす恐れがあります。

汚れた衣服や汗などで濡れたタオルを使用して治療をするのはお止めください。

Health wave Ⅱ

〈低周波治療について〉

粘着パッドを使用し、身体に異常を感じたり、発疹、発赤、かゆみなどが現れたりした場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。

身体が慣れてからも、「快く感じる」程度の出力で治療してください。

刺激感覚が低下している方は、はじめは通常よりも出力を特に弱めにしてください。

低周波出力ツマミは、必ず「0」の位置から出力を上げてください。安全回路が働いて、途中位置からでは出力されません。故障かなと思ったら、低周波出力ツマミを確認してください。

⚠注意

使用中、導子コードの抜き差しをしないでください。また、抜く時は電源が切れていることを確認してください。
事故や故障の原因となります。

使用を中断する場合や使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
導子のプラグも出力口から抜くなど、治療後は使用前の状態に戻してください。

〈超短波治療について〉

治療中、超短波導子やコードをむやみに触らないようにご注意ください。
チリッと熱い感覚を受けることがあります。

厚手の衣服やタオルを厚めにして使用した場合、温感が感じにくい場合があります。

本器は使いやすい姿勢で、緊張せずにリラックスして治療してください。

使用後の注意事項

⚠注意

電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜いてください。

操作ツマミ、スイッチなどを元の位置に戻した後、電源を切ってください。

粘着パッドと皮膚は使用後、清拭して常に清潔にしてください。

Health wave Ⅱ

使用上のご注意（つづき）

保管とお手入れについて

⚠警告

本体のお手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
感電などの事故の原因となります。

本体及び付属品のお手入れに際しては、シンナー、ガソリン、灯油などの 揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。変色、変質の原因となります。
アルコール、水、ぬるま湯又は中性洗剤を含ませて、固く絞った布で拭いてください。

お子様の手の届かない所に保管してください。
落としてけがや破損の原因となります。

⚠注意

風呂場、台所、車の中、火気の近く、直射日光の当たる場所など、温度や湿度の高い場所やほこりの多い場所、水のかかる場所ならびに塩分・イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのある場所には保管しないでください。
機器の寿命を縮めたり、熱や水分などにより本体変形や、火災や感電などの原因となります。

次回の使用に支障がないように清浄し、付属品ケースに入れて、整理保管してください。また、お手入れは水かぬるま湯を含ませて固く絞った布で拭いてください。水洗い等はしないでください。
変色・変形の原因となるのでシンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。

長期間ご使用にならない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。

保守・点検について

⚠警告

事前のチェックや点検等で不具合（付属品の絶縁：電源コードなどコード類のキズ、ひび割れ、断線の可能性、電源プラグやコネクタの接続不良等）が見られた場合は、必ずご購入先またはお客様相談窓口にご連絡ください。

しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認してください。

機器及び付属品は使用に際し、正しく作動することを日常的に点検してください。

超短波導子は消耗品です。より安全にお使いいただくために、無理な使用は避け、丁寧に取り扱ってください。また、使用頻度、条件により異なりますが、ご家庭で通常の使用状態で、年１回は点検を受け、付属品は遅くても３年以内で早めに交換してください。
万一、コードに折れやキズ、焦げ跡があったら使用を中止し、即交換してください。

３年以上使用した付属品による事故については、販売元または製造販売元は責任を負いかねる場合があります。

⚠注意

本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的（１年を目安）に点検を受けましょう。特に導子類の付属品は消耗品ですので、定期的に交換してください。
使用状態・条件により異なりますので、ご購入先またはお客様相談窓口へお問い合わせください。

その他

⚠警告

機器及び付属品または容器･包装品等を廃棄する場合は、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分してください。

一度使用した医療機器（中古医療機器）を業として他に販売､譲渡または貸与する場合は､必ず事前にご購入先またはお客様相談窓口へご連絡ください。
点検・修理を行い安全を確認された機器以外は、販売・賃貸・譲渡・貸与はできません。
注）販売・賃貸を業として行うには、「管理医療機器販売業」と「管理医療機器賃貸業」の届けをして、さらに「古物営業法」の許可を受けていることが必要です。

ヘルスウェーブⅡの主な特長

●１台で２種類の電子療法が行えます。

超短波治療法

衣服や乾いたタオルの上から使用します。
電波の作用で身体の内側からあたためます。

●２つの超短波導子を使い、２ヶ所の部位を同時に治療できるのでより効果的です。
●治療部位に応じた出力レベルの選択により簡単に治療ができます。

低周波治療法

皮膚に直接あてて、電流が神経や筋肉を刺激して治療します。

TENS	身体を心地よく刺激し、リラックスさせる効果があります。
EMS	筋肉を実際の運動のように刺激し、身体の気になる部分の筋肉トレーニングに効果を発揮します。
MCR	人間の身体にある弱い電流によく似た微弱電流を使用し、筋肉や関節のトリートメントにも効果があります。

●分かりやすい表示で操作もシンプルなので、毎日手軽に使えます。

効能・効果

超短波療法

■超短波による局所の温熱効果

●疲労回復
●血行をよくする
●筋肉の疲れをとる
●筋肉のこりをほぐす
●神経痛・筋肉痛の痛みの緩解
●胃腸の働きを活発にする

低周波療法

■肩こりの緩解
■麻痺した筋肉の萎縮の予防
■マッサージ効果

●疲労回復
●血行をよくする
●筋肉の疲れをとる
●筋肉のこりをほぐす
●神経痛・筋肉痛の痛みの緩解

※一般家庭で使用してください。

●健康の３要素について

病気にかかるとあわてて医者に通ったりするのに、治るとまた不健康な生活に逆戻り。
これでは、いつまでたっても健康な生活を送ることはできません。
それよりも、病気にならない健康なからだをつくることが大切。
毎日、バランスを考えて食事をとり、適度な運動をし、心やからだを休めること。
つまり、栄養・運動・休養が必要なのです。これを“健康の３要素”と言います。

●健康の３要素と電子療法の働き

「栄養バランスの良い食生活」・「適度な運動」・「十分な休養」の
３要素の調和が健康の秘訣です。健康の３要素を意識しながら、
超短波療法・低周波療法の２つの電子療法を、健康的な生活にお役立てください。

体をあたため、
疲労を回復させます。

超短波

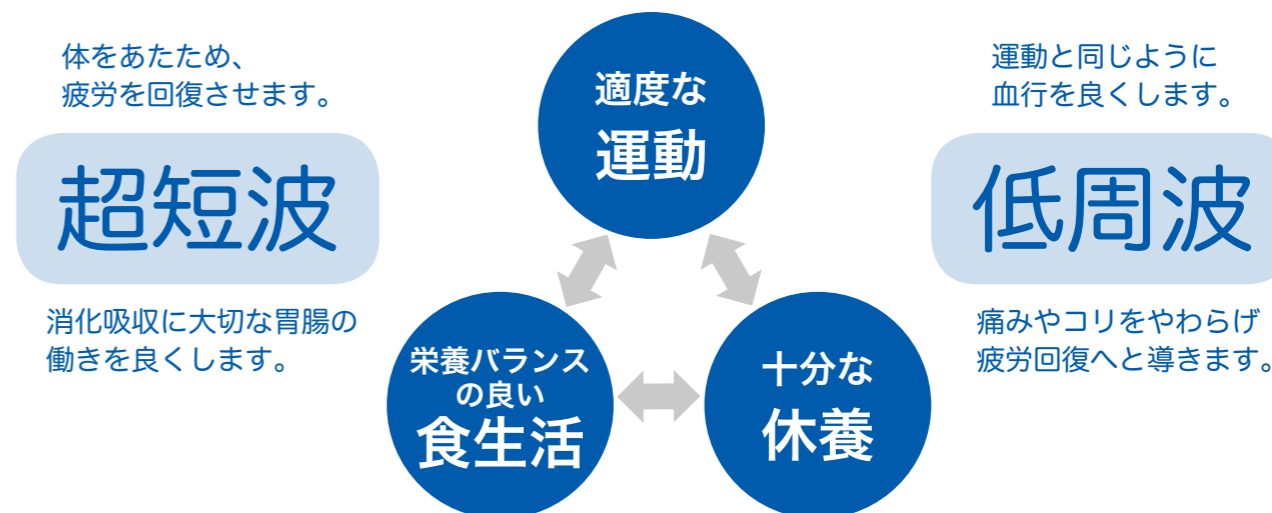
消化吸収に大切な胃腸の
働きを良くします。

適度な運動

栄養バランスの良い食生活

十分な休養

運動と同じように
血行を良くします。

痛みやコリをやわらげ
疲労回復へと導きます。

●電子療法と健康の３要素

超短波療法

超短波をあてると、からだの内部からあたたまってくるのがわかります。この内部からの熱は、運動を行うのと同じように血行を良くし、胃腸のはたらきを高めます。

低周波療法

低周波は、電流の刺激で神経や筋肉にはたらきかけます。手足の神経を刺激し、痛みやマヒ等に効果があるとともに、筋肉をマッサージし、コリなどをやわらげ、血行を促進する効果があります。

ヘルスウェーブⅡの構成内容

本器を初めて使う前に、以下の付属品が揃っているか必ずご確認ください。

本　体

※本体の各部名称とはたらきは
16～17ページをご覧ください。

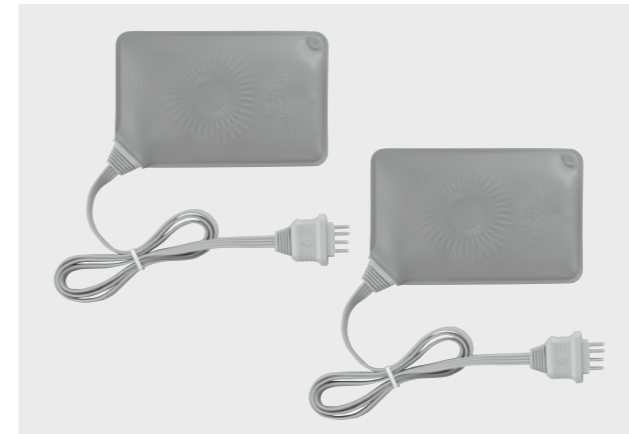
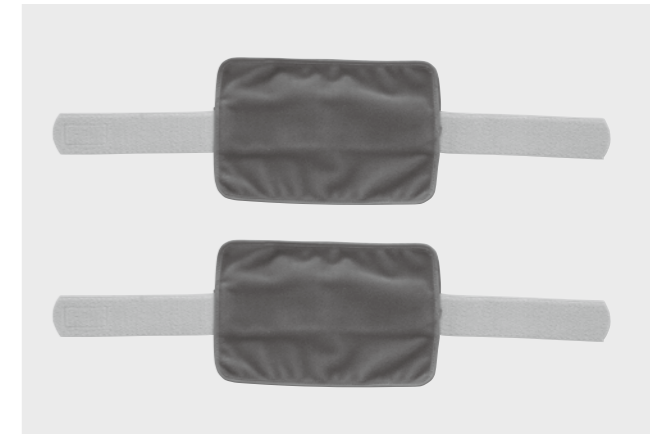
定格電源	100V　50/60Hz
定格消費電力	最大55W（低周波：5W　超短波：55W）
本体寸法（㎜）	285（幅）× 383（高さ）× 257（奥行き）
本体重量	約4.5kg

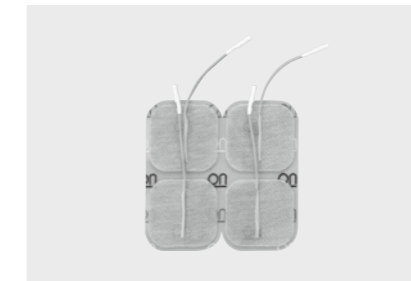
■超短波

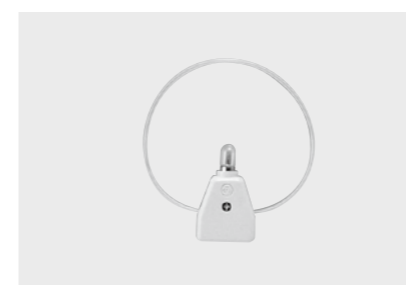
定格出力電力	最大8W±30%
周波数	27.12 MHz±162.72 kHz
タイマー	20分

■低周波

最大出力電流	12.0mArms±30%
基本周波数	200Hz±25%
定格出力電圧	72.0V±30%
タイマー	20分（MCRのみ60分）

付　属　品

超短波導子：2個
超短波を使用する時に、治療する部位に当てます。
必ずベルト付導子カバーに入れて使用してください。
2つの導子を使って治療することができます。

ベルト付導子カバー：2個
超短波導子専用のカバーです。
治療する部位にマジックベルトで固定して
使用します。

マジックベルト(S)：2本
治療する部位がベルト付導子カバー
のマジックベルトの長さでは
足りないときに使用します。

粘着パッドA(Mタイプ)：1セット
低周波を使用する時に、
低周波接続コードに接続し、
治療する部位に貼り付けます。

低周波接続コード：1本
粘着パッドAに接続し、
プラグを本体に差し込みます。

検波器：1個
超短波が正しく出力されているか、
確認することができます。

付属品ケース：1個
付属品の収納ケースです。
使用後、付属品は清潔にし、
整理保管してください。

本体の各部名称とはたらき

〈正面〉

操作パネル

電源スイッチ

スイッチを押して、電源の「入」「切」を行います。

低周波出力口

低周波接続コードのプラグを差し込みます。

超短波出力口①(1ch)・②(2ch)

超短波導子のプラグを差し込みます。
２つの導子を使用する場合は、導子のプラグをそれぞれ、超短波出力口①と②に差し込んでください。

〈背面〉

通気孔

布団をかぶせたり、壁に寄せたりして、通気孔をふさがないでください。本体内部が熱をもち、故障や発火の原因となります。

また、通気孔にホコリがつかないよう、定期的に掃除機などで吸いとってください。

電源コード

家庭用コンセント（100V）にプラグを差し込みます。
使用しない時は、必ずコンセントから抜いてください。

〈操作パネル〉

治療モード表示 超短波

超短波出力レベル選択スイッチ1chまたは2chを押すと治療モードが超短波になり点灯します。

超短波出力レベル表示

超短波出力レベル選択スイッチ1chまたは2chで選んだ出力レベルが点灯します。

超短波治療開始/停止表示

超短波治療開始 / 停止スイッチで超短波治療を開始（出力する）すると点灯し、停止（出力しない）すると点滅します。

超短波治療開始/停止スイッチ

スイッチを押して超短波治療の開始（出力する）、停止（出力しない）を行います。

超短波出力レベル選択スイッチ1ch

スイッチを押して、1chの超短波出力レベルを選択します。

超短波出力レベル選択スイッチ2ch

スイッチを押して、2chの超短波出力レベルを選択します。

タイマー表示

治療の残り時間を表示します。

"0"スタート表示

低周波出力ツマミが「0」の位置にない場合に点滅します。

治療モード表示 低周波

低周波プログラム選択スイッチを押すと、治療モードが低周波になり、点灯します。

低周波プログラム表示

低周波プログラム選択スイッチで選んだプログラムが点灯します。

低周波プログラム選択スイッチ

スイッチを押して、低周波プログラムを選択します。

低周波出力ツマミ

低周波の出力を調節します。「0」の位置から時計まわり方向にゆっくりとまわし、気持ちの良い強さに設定します。

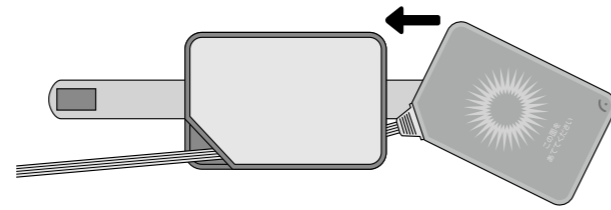
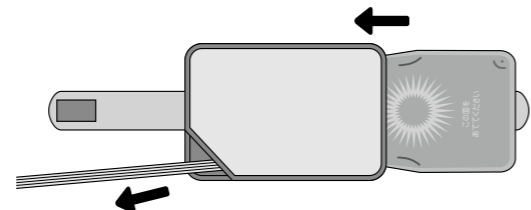
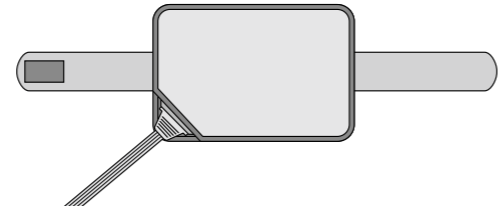
〈操作音のON、OFFについて〉

低周波プログラム選択スイッチを長押し（約3秒）することで、操作音のON、OFFの切り替えができます。

超短波治療の準備

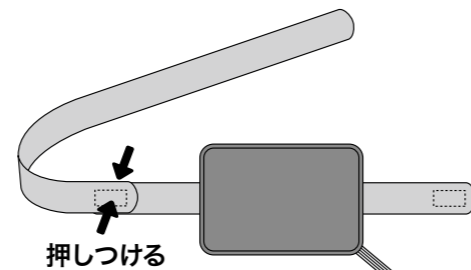
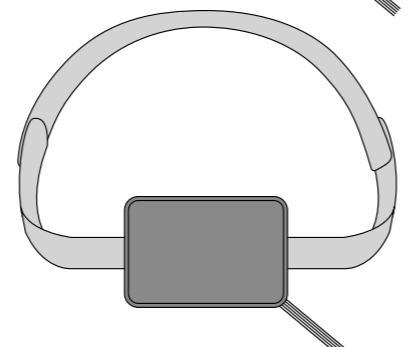
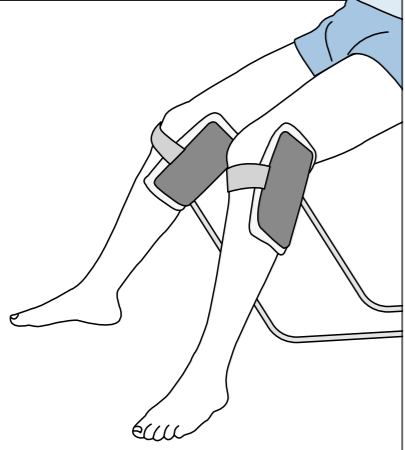
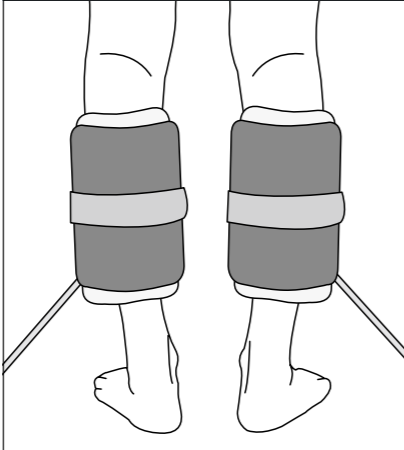
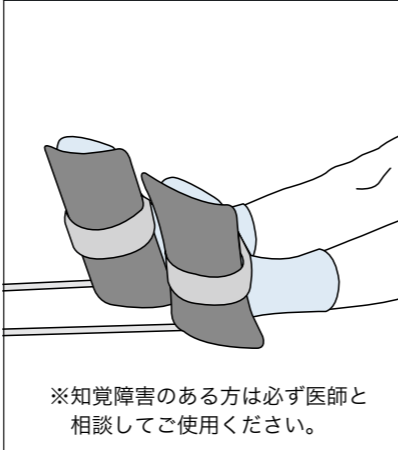
超短波導子のセットの仕方

超短波導子をベルト付導子カバーに入れる

1 **超短波導子**の◯マーク側と**ベルト付導子カバー**の内側（ピンク色の方）の向きを合わせ、導子のプラグとコードをカバーの穴に通します。

2 **ベルト付導子カバー**の入り口は**超短波導子**が抜けないように若干狭くなっているので、導子をやや丸めながら入れてください。

3 **超短波導子**全体を**ベルト付導子カバー**に納め、カバーに入れた導子を平らに伸ばしてください。

※超短波導子は必ずベルト付導子カバーに入れて使用してください。
※無理にコードを引っ張らないでください。

マジックベルト(S)を使い長さを調節する

超短波導子を治療部位に当てる場合に、**ベルト付導子カバー**に付いているマジックベルトでは長さが足りない場合は、付属の**マジックベルト (S)** を使って長さを調節してください。

1 **マジックベルト (S)** のマジックテープ部分を、**ベルト付導子カバー**のマジックテープの付いていない方に貼り付けます。

2 治療する部位に超短波導子を当てたら、**ベルト付導子カバー**に付いているマジックテープ部分を、マジックベルトか**ベルト付導子カバー**の適当な場所に貼り付けて、固定してください。

※治療の際にはベルト付導子カバーの内側(ピンク色の方、超短波導子では◯マーク側になります）を必ず身体側にしてください。内側（超短波導子の◯マーク側）が身体側にきていないと、十分な治療効果が得られません。

超短波治療の基本的な使用例

首 部

背骨を中心に頸部の裏側へ導子を当ててください。

○出力レベル／**弱〜中**
○治療時間／**20 分**
○1 日の治療回数／**1〜2 回**

肩 部

肩甲骨の上に導子を当ててください。

○出力レベル／**中〜強**
○治療時間／**20 分**
○1 日の治療回数／**1〜2 回**

背 中

肘の高さに導子の底辺がくるように当ててください。

○出力レベル／**中〜強**
○治療時間／**20 分**
○1 日の治療回数／**1〜2 回**

腰

背骨を中心として腰に導子を当ててください。

○出力レベル／**中〜強**
○治療時間／**20 分**
○1 日の治療回数／**1〜2 回**

腹 部

おへその真上に導子がくるように当ててください。

○出力レベル／**中**
○治療時間／**20 分**
○1 日の治療回数／**1〜2 回**

手 足

手足に導子を当ててください。

○出力レベル／**弱〜強**
○治療時間／**20 分**
○1 日の治療回数／**1〜2 回**

※導子は素肌の上から直接あてないでください。必ず乾いたタオルや服の上からあててください。

超短波治療の準備（つづき）

超短波治療の基本的な使用例（つづき）

ひ ざ	ふくらはぎ	足 裏
ひざの裏に導子を当ててください。	ふくらはぎに導子を当ててください。	足の裏に導子を当ててください。
		※知覚障害のある方は必ず医師と相談してご使用ください。
○出力レベル／**弱〜強** ○治療時間／**20 分** ○1 日の治療回数／**1〜2 回**	○出力レベル／**弱〜強** ○治療時間／**20 分** ○1 日の治療回数／**1〜2 回**	○出力レベル／**弱〜強** ○治療時間／**20 分** ○1 日の治療回数／**1〜2 回**

※導子は素肌の上から直接あてないでください。必ず乾いたタオルや服の上からあててください。

⚠ 超短波導子を使用する際の警告

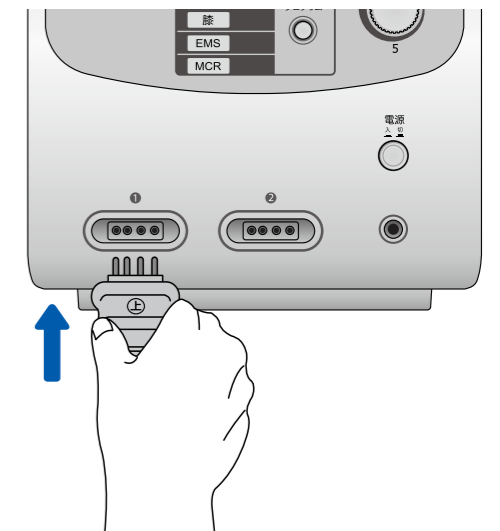
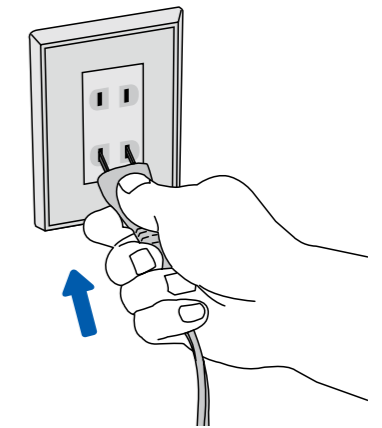
下記の点に注意して、正しく導子を使用してください。

- 導電性の衣類を着用して治療しないでください。
- 使い捨てカイロやネックレス、ベルトなどの金属類は体から外してください。
- 導子は素肌の上から直接あてないでください。必ず乾いたタオルや服の上からあててください。
- 電位治療器（高周波・負電荷を含む）などで使用する電床マットの上では、絶対に治療しないでください。
- 治療する時は皮膚の汗などを拭いてください。
- 濡れている導子は使用しないでください。
- 治療前にスイッチ等を操作し、治療器が正しく作動するか確認してください。
- 2つの導子を使う場合は、導子を重ね合わせないでください。また、2つの導子コードが絡み合ったり、巻きついたりしないようにしてください。
- 2つの導子で2人を同時に治療しないでください。
- 2つの導子で同じ部位を治療しないでください。
- 導子は必ずマジックベルトで固定してください。
- 治療中に超短波導子やコードに触れないでください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。
- 厚手の衣服やタオルを厚めにして使用した場合、温感が感じにくい場合があります。
- 足首や膝を合わせた状態で左右両側から導子をあてる治療は、絶対しないでください。タオルなどをあてがっても左右の足が触れることがあり、接触部に火傷を起こす可能性があります。

超短波の操作方法

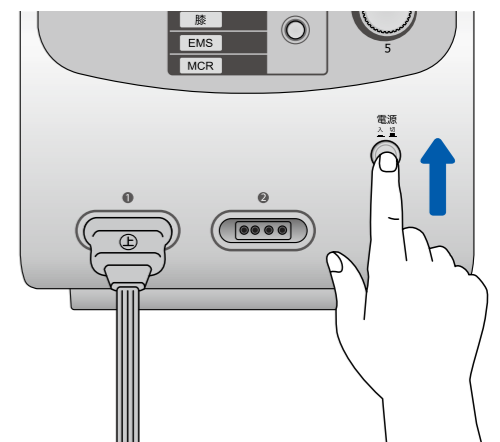
1 プラグを差し込む

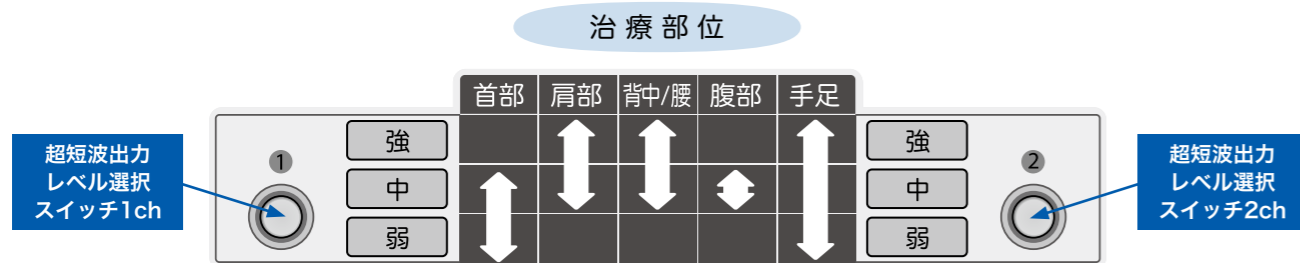
- 本体の電源が切れていることを確認し、**電源コード**のプラグを 100V コンセントに差し込みます。
- **ベルト付導子カバー**にセットした**超短波導子**（18 ページ参照）を治療する部位（19〜20 ページ参照）にあてて、固定します。
- 使用する**超短波導子**のプラグを**超短波出力口**①に差し込みます。

※プラグに ㊤ と記載してある面が上側になるように差し込みます。
※超短波導子を 1 つで使用する場合は、導子のプラグを出力口②に差し込んでも使用できます。
※超短波導子を 2 つ使用する場合は、もう一方の導子のプラグを出力口②に差し込みます。

2 電源を入れる

- **電源スイッチ**を押して、電源を入れます。
- **「治療モード表示 超短波」**、**「治療モード表示 低周波」**、**「超短波治療開始 / 停止表示」**、**「超短波出力レベル表示」**、**「低周波プログラム表示」**、**「"0" スタート表示」**、**「タイマー表示」**が点滅します。

※初期状態では「超短波」モードの出力レベル「弱」に設定されています。「治療モード表示 超短波」、「超短波出力レベル表示 " 弱 "」、「タイマー表示」が点灯し、「超短波治療開始 / 停止表示」が点滅します。
※2回目以降は、前回使用時のモード（出力レベル、プログラム）が表示されます。

Health wave Ⅱ

超短波の操作方法（つづき）

3 出力レベルを選択する

●**操作パネル**の表示を参考に、治療したい部位に応じた超短波出力レベルを**超短波出力レベル選択スイッチ**を押して選択します。

●**超短波出力レベル選択スイッチ**を１回押すごとに、**超短波出力レベル表示**が次のような順番で切り替わります。

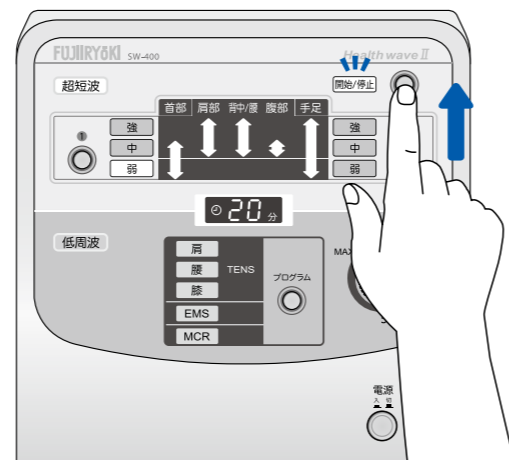
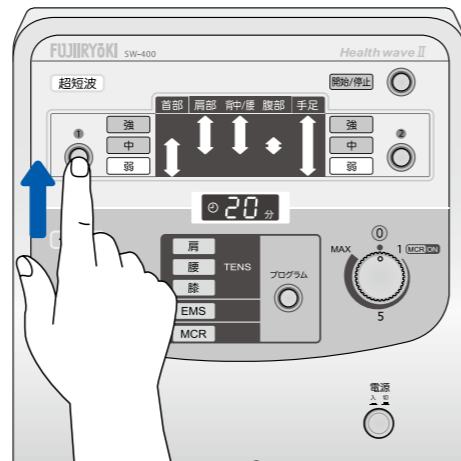
※超短波導子を２つ使用する場合は、超短波出力レベル選択スイッチ２ch を押して、超短波出力レベルを選択します。

4 治療を開始する

●**超短波治療開始 / 停止スイッチ**を押して、治療を開始します。**超短波治療開始 / 停止表示**が点滅から点灯に変わります。

※治療中に超短波出力レベルを変更する場合は、超短波出力選択スイッチを押して出力レベルを選択します。
※超短波導子を１ch のみ使用して治療を行なっている場合、超短波出力レベルは 1ch のみ点灯します。また、途中でもう一方の導子を出力口②に差し込んでも認識されません。

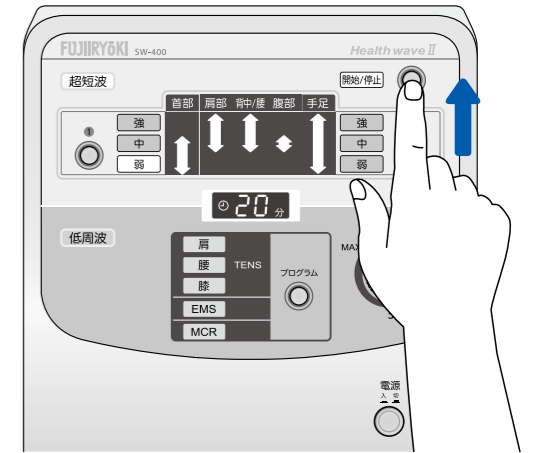
●**タイマー**（治療時間）は 20 分に自動設定されます。

※タイマーの設定は変更できません。

5 治療を中断する場合

●治療を中断する場合は、**超短波治療開始 / 停止スイッチ**を押します。

●**超短波治療開始 / 停止表示**が点灯から点滅に変わり、出力が停止します。

※タイマーは 20 分にリセットされます。

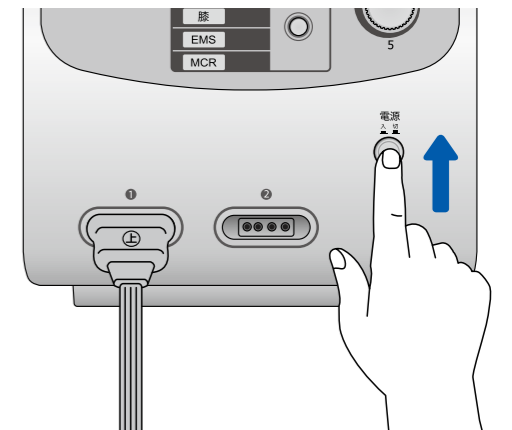
●治療を再開する場合は「3 出力レベルを選択する」（22 ページ参照）に戻り、手順に従ってください。

6 治療の終了

●治療が終了すると**タイマー**が "0" を表示し、ブザー音が鳴り、出力が自動的に切れます。

●同時に**超短波治療開始 / 停止表示**が点灯から点滅に変わります。

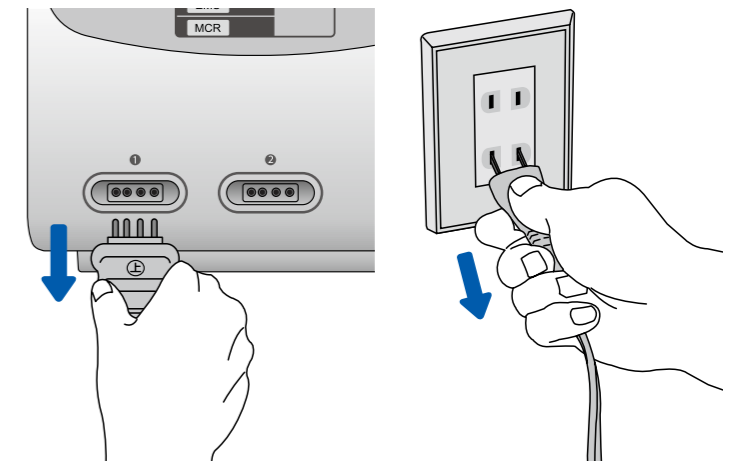
●治療を引き続き行う場合は「3 出力レベルを選択する」（22 ページ参照）に戻り、手順に従ってください。

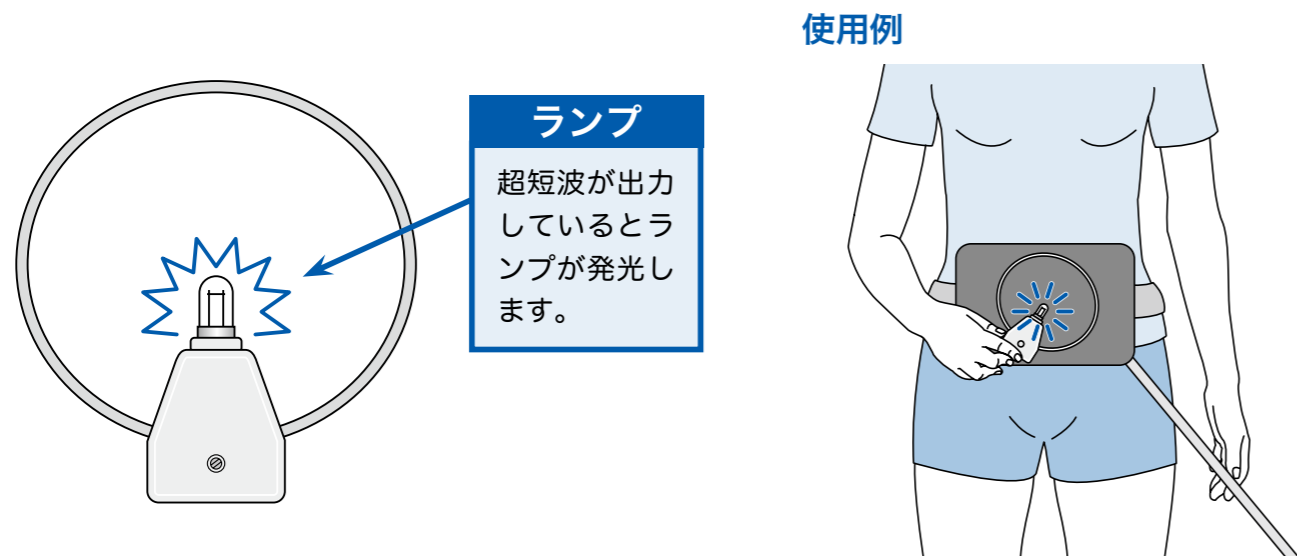
●治療を終了する場合は、**電源スイッチ**を押して電源を切ります。

●電源が切れると「**治療モード表示 超短波**」、「**超短波出力レベル表示**」、「**タイマー表示**」の点灯と「**超短波治療開始 / 停止表示**」の点滅が消えます。

7 整理、保管について

●使用した**超短波導子**のプラグを**超短波出力口**から抜きます。

●**電源コード**のプラグをコンセントから抜きます。

●次の使用に支障がないように**本体及び付属品**を清潔にし、整理保管してください。

検波器の使い方　超短波の出力を確認する

使用例

検 波 法

1 超短波の準備から超短波の操作方法までの手順に従ってください。（18～23 ページ参照）

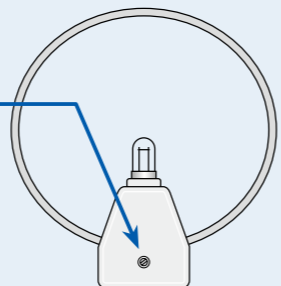
- **超短波導子**を装着する
- **超短波導子**のプラグを**超短波出力口**に差し込む
- 電源を入れる
- 出力レベルを選択する
- 治療を開始する

2 **検波器**を手に持ち、通電中の**導子**に近づけます。（使用例参照）

3 **検波器**の**ランプ**が約 2 秒おきに発光すれば正常です。

⚠ 検波法のご注意

- 他の製品の検波器を使用しないこと。ランプが切れる恐れがあります。
- 導子コードが絡んだり、巻き付いた状態で行わないこと。ランプが切れる恐れがあります。

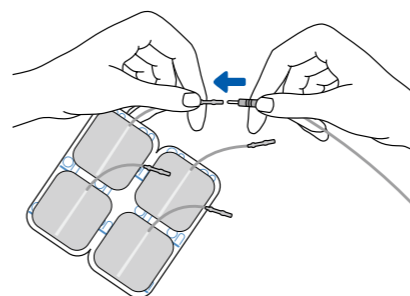
※使用しているとランプがゆるむことがあります。発光しなかったり、外れる恐れがありますのでランプをゆっくりと確実に締めつけてください。
※導子のあて方などにより発光に差が生じることがありますが、出力には問題ありません。
※発光しない、発光が弱い・強い場合などは小さなドライバー等を使い、「調節ネジ（右図）」を左右にゆっくりと回してください。発光を調節することができます。

低周波治療の準備

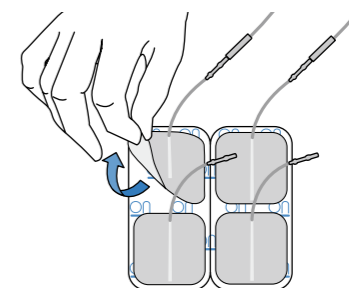
粘着パッドＡのセットの仕方

※お使いになる前に､肌に粘着パッドが合うかテストをしましょう。

①おなか・腕・太ももの内側など皮膚のやわらかい部分へ、粘着パッドＡを貼ってください。（粘着パッドＡに低周波接続コードを接続しない）
② 20 分後、粘着パッドＡを貼っていた部分が赤くなったり、かゆみを引き起こした場合は、使用を中止してご購入先またはお客様相談窓口までお問い合わせください。
③異常がないことをご確認のうえ、ご使用ください。

1 **粘着パッドＡと低周波接続コードを接続します。**

※必ず低周波接続コードの金属部分が見えなくなるよう根元まで差し込んでください。

2 **粘着パッドＡをフィルムから剥がします。**

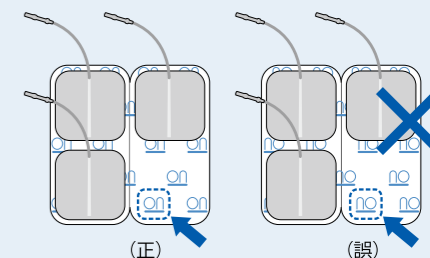
※粘着パッドＡの端をつまんでゆっくり持ち上げてください。
※接続コード部を持って剥がすようなことはしないでください。

⚠警告　粘着パッドＡについて

- 湿布やばんそうこう等の粘着物によりかぶれやすい方は、注意してご使用ください。かぶれたり、赤くなったりすることがあります。
- 傷のある部位には使用しないでください。
- 皮膚が荒れたり、火傷・炎症等をおこした際は直ちに使用を中止してください。
- 粘着パッドＡを使用した際に、発疹・発赤・かゆみ等が現れたときは直ちに使用を中止し、ご購入先またはお客様相談窓口にご相談ください。
- 粘着パッドＡを使用する時、金属物（ネックレス、ベルト、時計など）と重なったり、触れたりしないよう注意して貼ってください。また、粘着パッドＡは互いに重ならないように貼ってください。
- 粘着パッドＡを貼り付ける際には、必ず皮膚に密着させてください。場合によっては火傷等の皮膚障害をおこすおそれがあります。
- 皮膚にローション、オイルなど化粧品が残っている場合、または汗や皮脂で皮膚が汚れている場合は、粘着パッドＡの粘着力が低下し、付きにくくなります。皮膚を石鹸でよく洗い完全に乾かしてから貼り付けてください。
- 粘着パッドＡを皮膚から剥がすときは、必ず本体の電源スイッチを切ってください。
- 使用期限の切れたものや、粘着力が低下した粘着パッドＡの使用はおやめください。テープ・バンド・下着等で固定して使用しても、適切な効果が得られないばかりでなく、急激に強い刺激がかかったり、場合によっては火傷等の皮膚障害をおこすおそれがあります。
- 安全に製品をご使用いただくために、製造元で品質管理を実施しております純正の粘着パッドＡをご使用ください。模倣品の使用が原因で発生した火傷事故・故障・その他の不具合等につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

粘着パッドＡの保管について

- 粘着パッドＡを保管する際には、透明フィルムの「ON」と読める面に貼ってください。「NO」と読める面に貼るとはがれにくく、粘着パッドＡの寿命を縮めます。
- 粘着パッドＡの使用後は、元の透明フィルムに戻し、袋に入れ、室温で保存してください。
- 粘着パッドＡの袋に使用期限が表示してあります。期限切れの粘着パッドＡは使用しないでください。
- 粘着パッドＡは消耗品です。粘着力が低下しましたら交換してください。

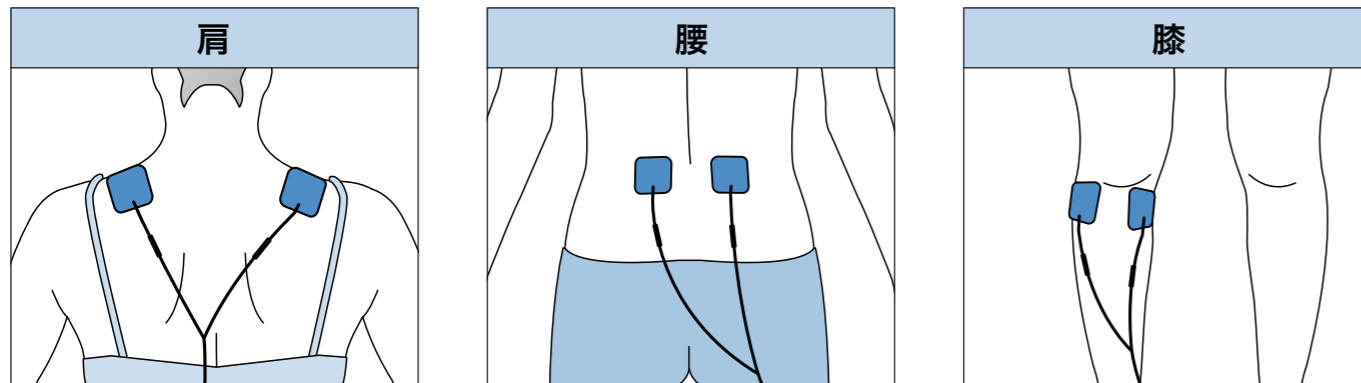
（正）

（誤）

低周波治療の準備（つづき）

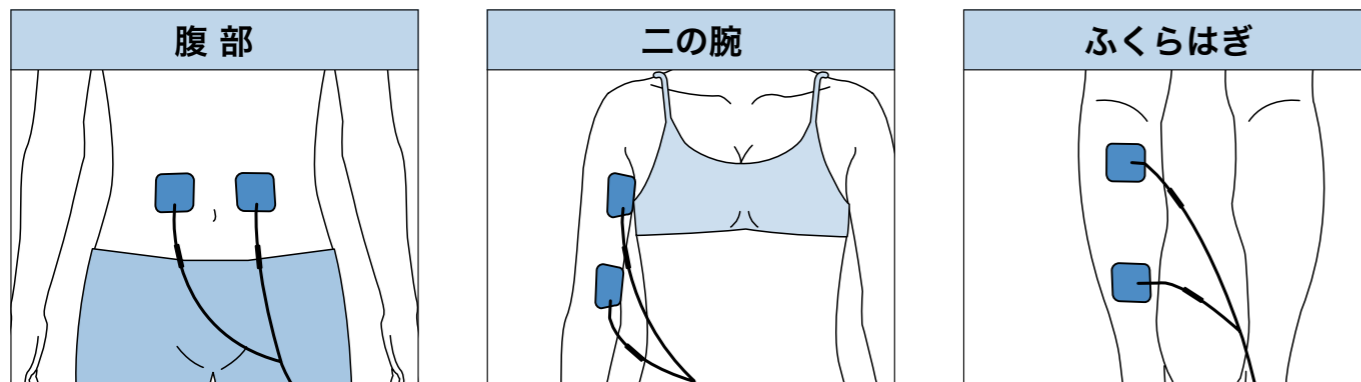
低周波治療の基本的な使用例

TENS（テンズ） Transcutaneous Electrical Nerve Stimulation（経皮的神経電気刺激）の略。
身体を心地よく刺激し、リラックスさせる効果があります。

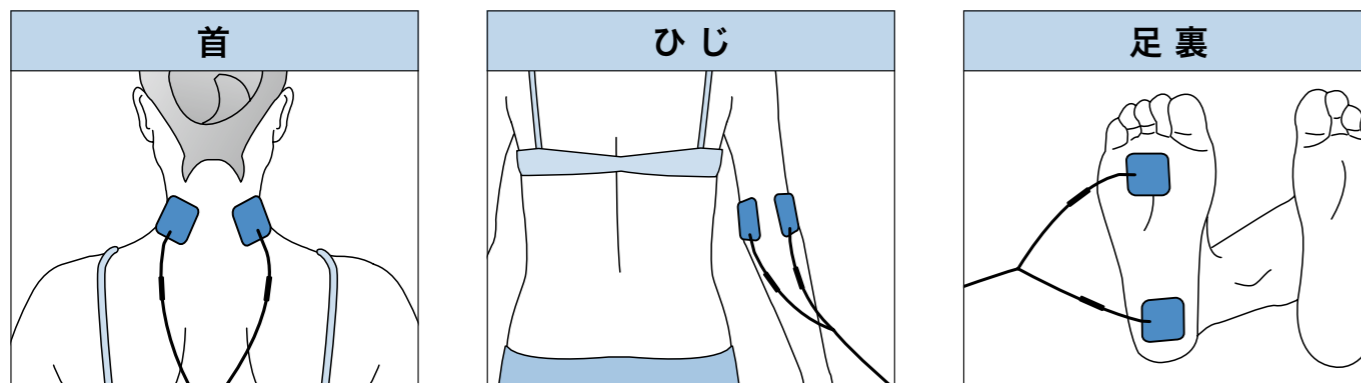
○出力の目安／**気持ち良いと感じる強さ**　○治療時間／**20 分**　○1 日の治療回数／**1〜2 回**

肩	腰	膝

EMS（イーエムエス） Electrical Muscle Stimulation（電気筋肉刺激）の略。
筋肉を実際の運動のように刺激し、身体の気になる部分の筋肉トレーニングに効果を発揮します。

○出力の目安／**がまんできる範囲の強さ**　○治療時間／**20 分**　○1 日の治療回数／**1〜3 回**

腹 部	二の腕	ふくらはぎ

MCR（エムシーアール） Microcurrent（微弱電流）の略。
人間の身体にある弱い電流によく似た微弱電流を使用し、筋肉や関節のトリートメントにも効果があります。

○出力の目安／**体感はほとんどありません（出力は一定です）**　○治療時間／**60 分**　○1 日の治療回数／**1〜2 回**

首	ひ じ	足 裏

低周波の操作方法

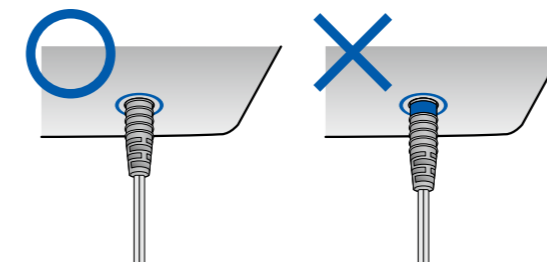
1 プラグを差し込む

●本体の電源が切れていることを確認し、**電源コード**のプラグを 100V コンセントに差し込みます。

●セットした**粘着パッド A**（25 ページ参照）を治療する部位（26 ページ参照）に貼り付けます。

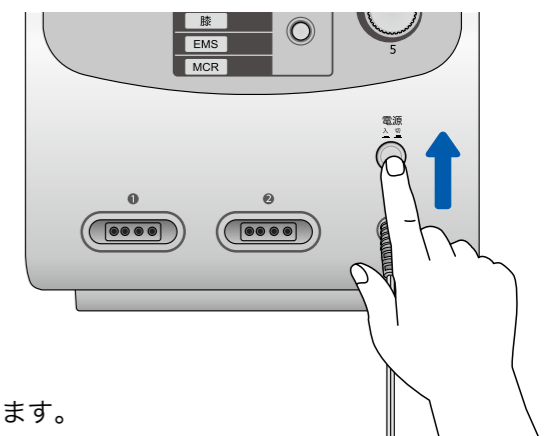
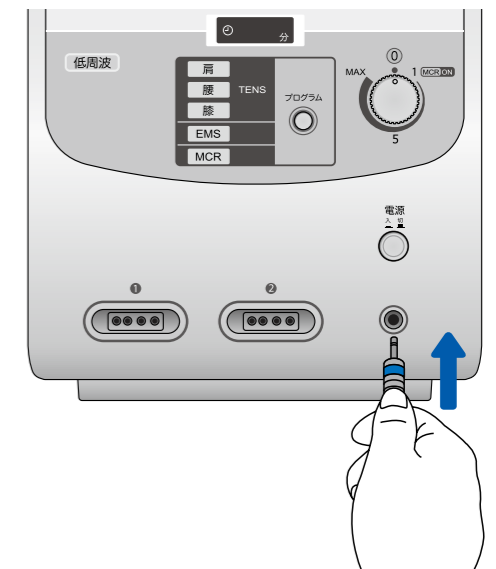
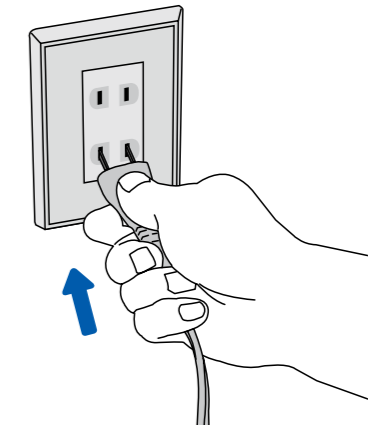
※粘着パッド A は肌に密着させてください。汗などで肌が汚れていると粘着パッド A が貼り付きにくくなるので、タオルなどでしっかりと汗を拭きとってください。

●**低周波接続コード**のプラグを**低周波出力口**に差し込みます。

※プラグの青色のラインが見えなくなるまで、奥までしっかりと差し込んでください。

2 電源を入れる

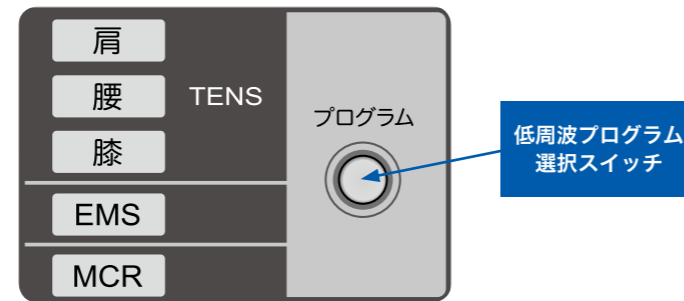
●**電源スイッチ**を押して、電源を入れます。

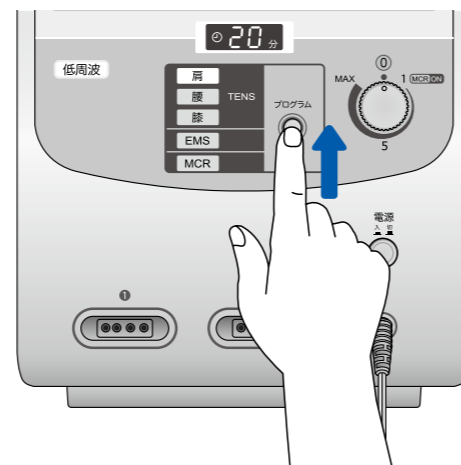
●**「治療モード表示 超短波」、「治療モード表示 低周波」、「超短波治療開始 / 停止表示」、「超短波出力レベル表示」、「低周波プログラム表示」、「"0" スタート表示」、「タイマー表示」**が点滅します。

※初期状態では「超短波」モードの出力レベル「弱」に設定されています。
「治療モード表示 超短波」、「超短波出力レベル表示 " 弱 "」、「タイマー表示」が点灯し、「超短波治療開始 / 停止表示」が点滅します。
※２回目以降は、前回使用時のモード（出力レベル、プログラム）が表示されます。

低周波の操作方法（つづき）

3 プログラムを選択する

●**操作パネル**の表示に合わせて、治療したい部位またはプログラムに応じた低周波プログラムを**低周波プログラム選択スイッチ**を押して選択します。

※低周波プログラム選択スイッチを押すと、治療モード表示 低周波が点灯します。

●**低周波プログラム選択スイッチ**を 1 回押すごとに、**低周波プログラム表示**が次のような順番で切り替わります。

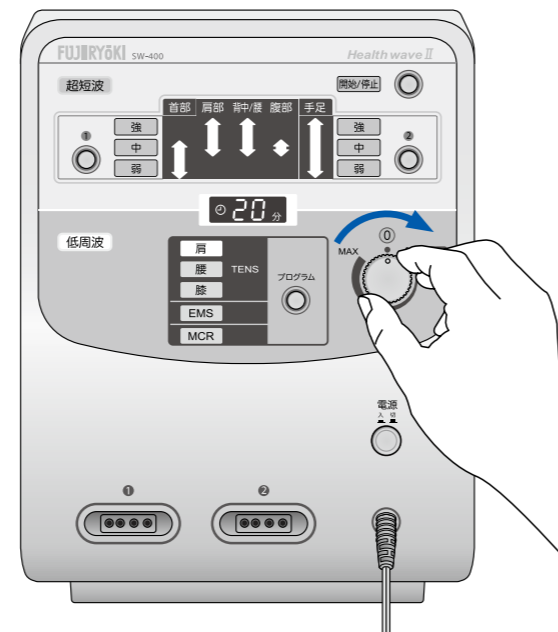
「肩(TENS)」→「腰(TENS)」→「膝(TENS)」→「EMS」→「MCR」→「肩(TENS)」

4 治療を開始する

●**低周波出力ツマミ**を「0」の位置から時計まわり方向にゆっくりとまわし、気持ちの良い強さに設定します。

※ MCR を選択した場合は低周波出力ツマミを 1 ～ MAX のどの位置に設定しても出力は一定となります。
※ MCR は微弱な電流を使用しているため、体感はほとんどありません。

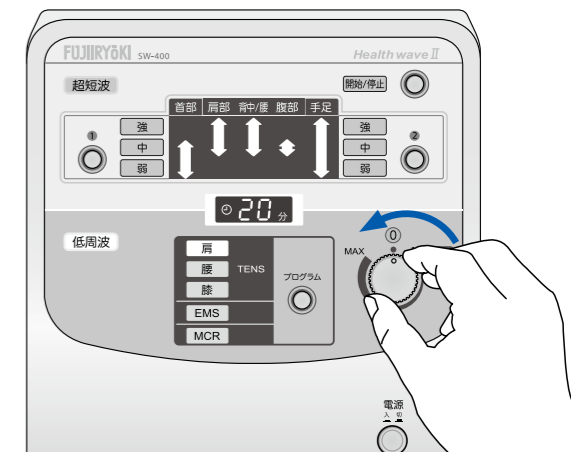
〈低周波出力ツマミについて〉
低周波出力ツマミが「0」の位置にない場合は、"0" スタート表示が点滅してブザーが鳴り、出力されないようになっています。
低周波出力ツマミを「0」の位置に戻し、"0" スタート表示が消灯したことを確認してからツマミをゆっくりと時計まわり方向にまわし、出力をあげてください。

●**タイマー**（治療時間）は「肩（TENS）」、「腰（TENS）」、「膝（TENS）」、「EMS」が 20 分、「MCR」が 60 分に自動設定されます。

※タイマーの設定は変更できません。

5 治療を中断する場合

●治療を中断する場合は、**低周波出力ツマミ**を「0」の位置に戻します。

※タイマーは「肩（TENS）」、「腰（TENS）」、「膝（TENS）」、「EMS」が 20 分、「MCR」が 60 分にリセットされます。

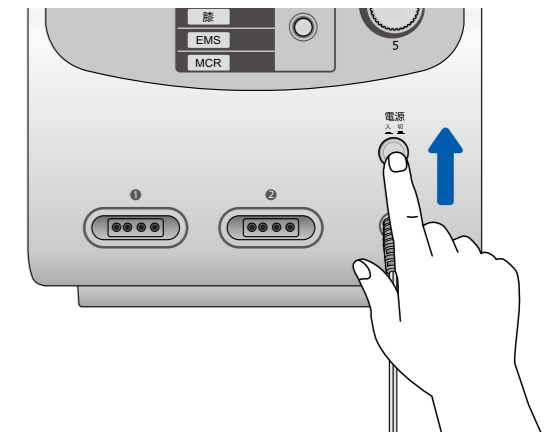
●治療を再開する場合は「3 プログラムを選択する」（28 ページ参照）に戻り、手順に従ってください。

6 治療の終了

●治療が終了すると**タイマー**が "0" を表示し、ブザー音が鳴り、出力が自動的に切れます。

●同時に **"0" スタート表示**が点滅します。

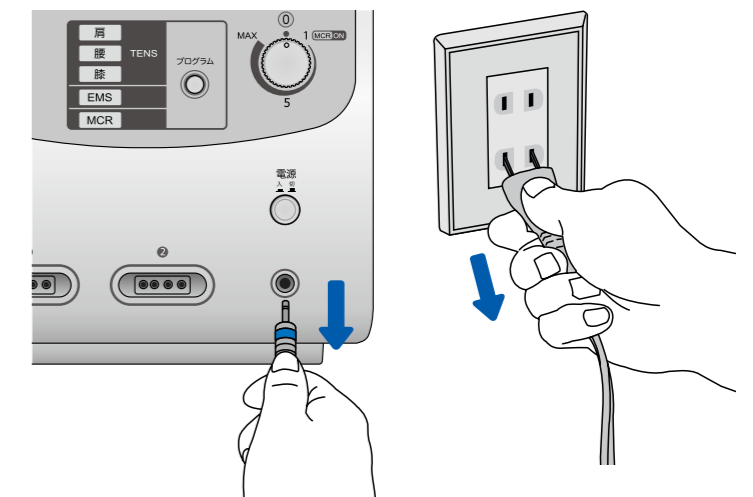
●治療を引き続き行う場合は「3 プログラムを選択する」（28 ページ参照）に戻り、手順に従ってください。

●治療を終了する場合は、**電源スイッチ**を押して電源を切ります。

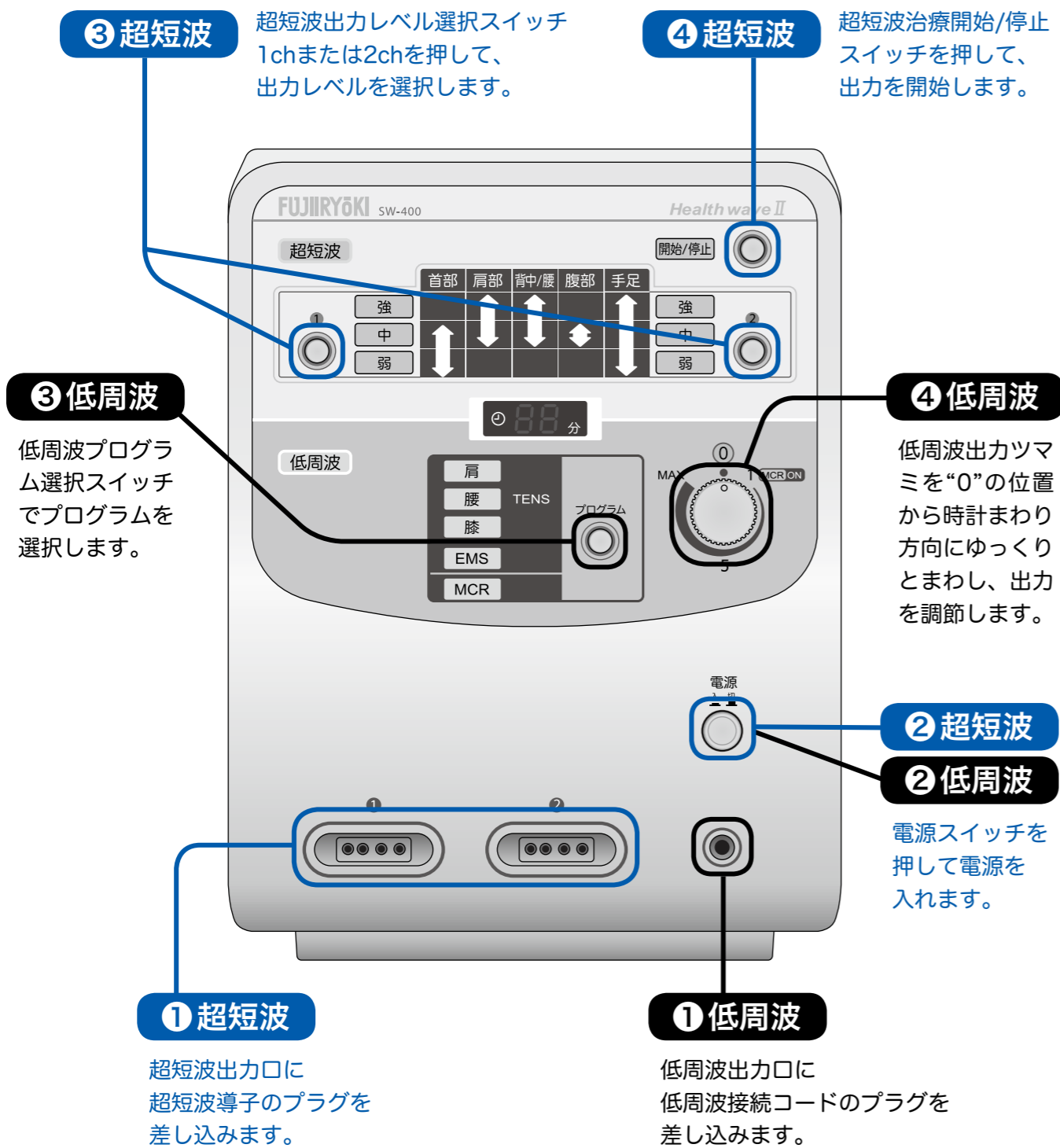
●電源が切れると「**治療モード表示 低周波**」、「**低周波プログラム表示**」、「**タイマー表示**」の点灯と「**"0" スタート表示**」の点滅が消えます。

7 整理、保管について

●使用した**低周波接続コード導子**のプラグを**低周波出力口**から抜きます。

●**電源コード**のプラグをコンセントから抜きます。

●次の使用に支障がないように**本体及び付属品**を清潔にし、整理保管してください。

操作早わかり

はじめに
●超短波を開始する場合は超短波導子を治療する部位にあて、マジックベルトで固定してください。
●低周波を使用する場合は粘着パッドＡを治療する部位に貼り付けてください。
●電源コードのプラグを100Vコンセントに差し込んでください。

本取扱説明書の注意事項をよくお読みになり、正しくお使いください。

故障かな？と思ったら

症　状		考えられる原因		対処方法
電源が入らない。		電源プラグが100Vコンセントに差し込まれていますか？		電源コードのプラグを100Vコンセントにしっかり差し込んでください。
超短波が出力されない。 ブザー音（ピーピー音）が鳴る。		導子のプラグが本体の出力口から抜けていませんか？		電源スイッチを切り、導子のプラグを本体の出力口にしっかり差し込んでください。
低周波出力ツマミをまわしても出力されない。 ブザー音（ピーピー音）が鳴る。		"0"スタート表示が点滅していませんか？ 接続コードが本体の出力口から抜けていませんか？		接続コードが本体の出力口にしっかり差し込んであるか確認してください。 低周波出力ツマミを「0」の位置に戻し、"0"スタート表示が消灯したことを確認してから、ツマミをゆっくりとまわしてください。
低周波を使用しているときにチクチクと不快な刺激がある。		粘着パッドＡが肌にしっかりと貼られていますか？ 粘着パッドＡが古くなり、粘着力が低下していませんか？		粘着パッドＡを肌にしっかりと貼り付けてください。粘着パッドＡは消耗品です。粘着力が低下しましたら、交換してください。
検波器が発光しない。		検波器の使用方法は間違っていませんか？		検波器の使い方に従って使用してください。（24ページ参照）

愛情点検　愛情点検　**長年のご使用の場合は点検をぜひ！**

このような症状はありませんか？
●こげくさいにおいがする。
●電源コード、プラグが異常に熱い。
●コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
●その他の異常がある。

故障や事故防止のため本体の電源スイッチを切って、電源コードのプラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先または、お客様相談窓口までお問い合わせください。

保証とアフターサービス

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談は、まずご購入先へご連絡ください。

●保証書（別に添付してあります）

お買い上げの際に保証書をご購入先からお受け取りになり「お買い上げ日」・「ご購入先名」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間 **お買い上げ日から１年間**

●補修用性能部品の保有期間

当社はこの治療器の補修用性能部品を、製造打ち切り後、６年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

31 ページに従ってお調べいただき、なお異常があるときは、使用を中止し、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先にご連絡ください。

●保証期間中に修理を依頼される場合

ご購入先にご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。（なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。）

●その他ご不明な場合

アフターサービスに関するご相談、ならびにご不明な点は、ご購入先または、お客様相談室窓口までお問い合わせください。

●保証期間を過ぎて修理を依頼される場合

まずご購入先にご相談ください。
修理により、製品機能が維持できる場合には、ご要望に従い有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談は、まずご購入先へご連絡ください。

フリーダイヤル
0120-027612

受付：月曜～金曜　午前9時～午後5時30分
※但し、土日祝日、年末年始は休ませていただきます。

FAX・E-mail での受付も行っております。

FAX番号 **06-6644-9103**

E-mail **フジ医療器ホームページのお問い合せフォームにて受け付けております。**
（ホームページ）http://www.fujiiryoki.co.jp

FAX・E-mailでの受付は24時間行っておりますが、お客様へのご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

株式会社フジ医療器は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバーディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

地球の環境保護の為、破棄するときはそのまま放置しないで各自治体の取り決めにしたがってください。

販売元
美と健康の総合メーカー
株式会社フジ医療器
〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階

製造販売元：伊藤超短波株式会社
〒176-0014 東京都練馬区豊玉南3-3-3 ☎ 03 (3994) 1683

お客様へ…ご購入年月日・ご購入店名を記入されると便利です。

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	TEL

D1a 231060-1108　A1108TS-IIIi